

「鉄道用自動改札システム」 IEEE Milestone 受賞

「鉄道用自動改札システム」は、わが国で7つ目のマイルストーンに認定された。2007年11月27日（火）シェラトン都ホテル大阪において Kansai Section 主催によるマイルストーン贈呈式には、IEEE 本部から来日した History Committee Chair の Dr. Richard Gowen 氏から、受賞4組織の代表である、大阪大学 西尾章治郎副学長、近畿日本鉄道(株) 小林哲也社長、オムロン(株) 作田久男社長、阪急電鉄(株) 角和夫社長に業績を称えた Citation が刻み込まれた銘板(Plaque)が夫々に授与され、引き続き記念パーティーが開催されました。終了後、中央電気倶楽部にて IEEE Milestones 賞受賞記念講演会が行われました。



1967年3月阪急北千里駅にて世界最初の自動改札システムの営業運用を開始した
(阪急電鉄(株)提供)



今回贈呈された IEEE Milestone 銘板

左から Dr. Richard Gowen Chair, オムロン作田社長、大阪大学西尾副学長、近鉄小林社長、阪急角社長

記念講演会のテーマと講演者

基調講演 IEEE Global History Network
Richard Gowen, IEEE History Committee Chair

「定期券 通用経路判定の算法開発の苦労話」
白川 功 兵庫県立大学大学院教授（大阪大学名誉教授）

「自動改札、発想の原点と開発途上での思いがけぬ「出会い」」
井上和夫（元近畿日本鉄道(株)副社長）

「ユーザー視点で挑んだ自動改札機の開発～ゼロからの挑戦で非常識を常識に！」
田中寿雄（元オムロン(株)）

[> Milestone Dedication Ceremony of VHS Home Video Recording](#)